



症状を知り、病気を探る： 病理医ヤンデル先生が「わかりやすく」語る

市原真著. -- 照林社, 2017.

ISBN: 9784796524209

REVIEWER

医学研究科 人間健康科学系専攻
M1

「患者さんの訴えを、しっかり聞く」方法、本当にわかっていますか？

「おなか、痛い。」と患者さんがボソッと言いました。次の3つの選択肢のうち、今のあなたの状況に最も近いものはどれですか？

- A. 具体的な問診方法や予想される疾患・病態が頭に浮かんだ！完璧に対応できる！
- B. えっ？「大丈夫ですか？」くらいしか…くない？時間あれば対応も浮かぶよ…。
- C. …。立ち去りたいくらい何も思いつかない…マズい…。勉強足りていない…。

☞B・Cの方：この本に出会ったあなたはラッキー☆まずは22ページをチラッと読んでみてください！きっと「腹痛」の見方が変わります！

☞Aの方：この本は、今のあなたには必要ないと思います。でも、この本はアセスメント方法の初めの初めから丁寧に学べます。普段の関わりで患者さんを「診る」ことができているか振り返ってみる良い機会かもしれません。プロローグを読んでみてください！

(裏へ続きます)

491

1

I 13

医人健開架

⇒⇒⇒

この本は、Twitterで有名な「病理医ヤンデル」先生が医療現場でよく目にする5大症状の「おなか
が痛い」「胸が苦しい」「呼吸がづらい」「熱が出た」「めまいがする」を解説しています。文字が小さすぎ
ず、よくある症状を集中的に勉強できて、語りかけるような表現で書かれているので気張ることなく、ス
ラスラ読むことができます。（すべて読んでも5時間ほど！）現場で患者さんと関わるようになると、患
者さんの訴えではなく、診断名としての疾患が「すべて」になってしまうことがあります。この本には、疾患
や病態に注目するのではなく、具体的な患者さんの発言から症状を読み解く術が書かれています。

著者の市原先生は病理医であり、医師目線で全ての医療スタッフに知って欲しい患者さんの変化
に気が付くための診断学を学べます。特に、看護学生は維持管理のスペシャリストとしての看護師に
なるために必要なことを学べると思います。

まずは、臨床現場の先生からのメッセージとしてのプロローグやエピローグも一読ください。きっと続きの
ページも読んでみたくなるはずです！

受理：2018-04-17